

中央区 自治協議会だより

第13号

平成28年3月20日発行 発行・新潟市中央区 自治協議会だより編集部会 電話：223-7035 (地域課内)

中央区自治協議会の活動内容を「自治協議会だより」で年3回お知らせします。
 区民の皆さんと行政との「協働の要」である区自治協議会では、地域の特色あるまちづくりを進めるため、38人の委員が区役所と連携しながら活動しています。
 自治協議会の議事の内容はホームページ(http://www.city.niigata.lg.jp/chuo/torikumi/jichikyo/kaigi_kaisai) = QRコード = で公開しています。



区自治協議会の主な議事(抜粋)

平成27年12月(第9回) ~ 平成28年2月(第11回)

平成27年12月からことし2月までに毎月開催した中央区自治協議会全体会での議事や報告事項の中で、委員が質問・意見・提案を述べたものを抜粋し紹介します。

▶平成28年度中央区自治協議会提案事業について(第9回)

委員 各部会が来年度に取り組む提案事業の概要を報告

▶中央区ビジョンまちづくり計画の進捗状況について(第9回)

事務局 第8回自治協議会で委員から質問があった「外国人誘客推進事業」と「がんばるまちなか支援事業」について具体的に説明

委員

1. 「外国人誘客推進事業」の宿泊奨励金による市内への経済効果について質問
2. 「がんばるまちなか支援事業」で支援補助を受けている団体の現状について質問

▶水と土の芸術祭2015事業実施報告(第10回)

事務局 昨年7月~10月に開催された同芸術祭の実施概要について報告

委員

1. 来場者数の集計方法や来場者アンケートの結果について質問



2. 広報活動やアクセス方法について提案

▶市商店街連盟による歩行者通行量調査の結果について(第10回)

委員 古町の活性化に向けた改善案や新バスシステムの課題などについて意見交換



春節祭(2月14日撮影)

▶各部会の活動報告(第11回)

委員 各部会の開催概要および検討内容について報告

1. 「拠点と賑わいのまち部会」が実施したグループインタビューの参加者の募集方法について質問
2. 「人にやさしい暮らしのまち部会」が実施した大学生による聞き取り調査の対象自治会・町内会について質問

▶第1回信濃川やすらぎ堤利用調整協議会の報告(第11回)

委員 やすらぎ堤周辺の適正かつ公正な利用を推進する同会の会議概要を報告



1. 同会で示されたスケジュール案について質問
2. 民間事業者が参入しやすいしくみ作りを進めるよう要望

市長と意見交換 平成28年度新潟市政の展望について



1月に開催した第10回自治協議会では、市長が平成28年度の新潟市政の展望について、今年度から実施している「にいがた未来ビジョン」と去年10月に策定した「新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいて説明しました。

▶主な質問・要望

1. 新バスシステムの課題改善を迅速に行うよう要望
2. 旧大和デパートの再開発計画の現状について質問
3. コミュニティ協議会の活動場所について要望
4. 待機児童ゼロの現状について質問
5. ひまわりクラブの受益者負担の拡大について質問

水辺とみなとのまち部会

開港150周年を3年後にひかえて

「北前船時代の新たな街並みづくり」(第4期平成25~26年度)の提言を検証することが、当部会の今年度の主な事業活動です。

「みなとまち新潟」は開港150周年を3年後にひかえています。

第5期(平成27~28年度)の事業のうち、今年度は150周年をすでに迎えた3都市およびこれから迎える1都市、開港記念事業を行った34都市の調査を行いました。



開港記念事業のネットワークづくりにも取り組んでおり、2月25日(木)には北前船のゆかりの地である下町地域のコミュニティ協議会やまちづくり団体の代表者と「情報交換会」を開催しました=写真上=。

今年の夏休みには、次世代を担う子ども達と「みなとまち新潟」の歴史を学ぶ社会科体験教室を企画しており、現在、部会で内容を検討しています。

座長 藤田孝一

人にやさしい暮らしのまち部会

「わが家の備えのチェックシート」を作成

「地域コミュニティを活性化するための防災」をテーマに、今年度、当部会は20回以上の調査・検討を行ってきました。

新潟地震から51年がたちましたが、新潟地震をもう一度思い起こし、大規模地震から自分と家族を守る「自助」の観点から、「わが家の備えのチェックシート」を作成しました。近日中に区民の皆さんへお届けできるように、区内の各自治会・町内会にお願いする予定です。



また、チェックシートの項目は中央区だよりでもお伝えします。次号4月3日号から1年間にわたり、「防災ワンポイント」と題して掲載する予定です=左下に関連記事=。

「自助」ができなければ「共助」につながりません。このチェックシートを基に、何を備え、どう対応するかなど、家族の皆さんで防災について考えていただくことを期待しています。

座長 田村勝義

拠点と賑わいのまち部会

活性化案についてグループインタビューを実施

当部会では、昨年度から「未来に備えた地域の賑わい創出・活性化」をテーマに調査・検討を行っています。

2月20日および21日に、当部会で区の未来像として提案した12の案について、区内在住の24人にグループインタビューを実施しました=写真上=。



参加者を4つのグループに分け、テーマに沿って自由に発言してもらいました。テーマは新潟市の自慢できることや好きなところのほか、当部会で提案した12の案に関するものにもなりました。頂いたさまざまな意見や感想は、今月中に報告書にまとめる予定です。

28年度は、これまでの調査結果をふまえて提案をより具体的なものにす一方、区民アンケートを実施しさらに検討を進めます。最終的に5つの案にまとめ、区民の皆さんを対象にプレゼンテーションを実施する予定です。

座長 浅野昌裕

4月3日号から

防災ワンポイントを掲載します

次回の中央区だより4月3日号から、下記のような防災ワンポイントを全24回にわたり掲載する予定です。



例：防災知識は地域の防災訓練などいろいろな機会積極的に入手しましょう

人にやさしい暮らしのまち部会

分かりやすいから簡単にチェックできるね!



ジョージ キョージョ 市防災マスコットキャラクター

編集後記

今年度3回目の自治協議会だよりをお届けします。

自治協第5期(27年~28年度)も折り返しとなりました。編集委員のもっぱらの話題は、自治協が「協働の要」として機能していくためにも、どうしたらより多くの人から自治協議会だよりを読んでもらえるか、ということです。

編集委員一同、今後も紙面構成を工夫し、来年度に向けた計画も進めて参ります。今後ともよろしくお願いたします。

自治協議会だより編集部会 座長 井上基之